

齋藤茂吉の人物像や作品に触れる ～ プレ講座研修旅行



NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第44号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
事務所:伊達市北後22-1

発行責任者
理事長 鈴木克良

『人間茂吉の文学散歩』

- 1面 人間茂吉の文学散歩
- 2面 信達三十三観音堂を巡る①②・子ども農園
- 3面 伊達西地区健康講座・蔵王山(熊野岳)登山・ズンバに親しもう・大人の料理教室
- 4面 おらが町内会パート3 殿町町内会・ボランティア活動・編集後記



6月27日(火)、福島大学名誉教授の高野保夫さんを講師に、7月より開催の、近代短歌史上に重要な位置を占める歌人で精神科医でもあった齋藤茂吉の人となりや作品に触れるプレ講座研修ツアーを開催しました。

山形・山市にある茂吉記念館では、五十嵐学芸員のウィットに富んだ説明をいただき、参加者は真剣に耳を傾けながら、茂吉の生涯をひも解いていました。昼食後は、山形県郷土史館



→7月11日(第一回)の講義風景

「文翔館」の散策等、大変有意義な研修旅行となりました。また、7月11日(火)には、高野先生を講師にお迎えし、人間茂吉の文学散歩(全六回)がスタートしました。

齋藤茂吉の人と作品に触れる文学講座の第一回は、生い立ちと上京までを、短歌を交えて解説いただきました。

なお、40名を超える受講者の皆様には、感染症対策へのご協力をお願いし、ご参加いただいています。

通算9年目となる今年も、高野先生を講師に開催できましたことに感謝申し上げます。

● 参加した皆様の声 (一部) ●

- ・ 齋藤茂吉の名前しか知らなかった私ですが、記念館を拝見し、生い立ち、人物像がわかったような気がします。
- ・ (記念館の)学芸員さんの人間味あふれる解説に、また訪れてみたいと思いました。
- ・ 7月からの講座により一層興味が湧いてきて、やる気満々です。
- ・ 同じ西地区の方たちとの交流もできて良かったです。



←満足度アンケート

下記のQRコードから、過去の「自治協だより」をご覧いただけます
(市民活動支援センターHP)



伊達地方の信達三十三観音堂を巡る①②

6月22日(木)より、『伊達地方の信達三十三観音堂を巡る』(全三回)がスタートしました。

昨年同様、伊達市文化財保護審議会会長の菊田正男さんを講師に、第1回は伊達伏黒、梁川、霊山(2か所)合計4か所の観音堂を訪ねました。

7月20日(木)の第2回は保原地区の4か所を見学しました。講師のお計らいによる観音堂内部の

拝見や、観音堂スタッフの説明などもある交えながら、参加者の皆さんも和気あいあいの楽しいフィールドワークとなったようです。



第23番 平寺観音堂(伊達伏黒)



第30番 利生寺観音堂(梁川)

第1回



第29番 霊山寺観音堂(霊山)



第28番 千尋寺観音堂(霊山)

第2回

第25番 野崎寺観音堂(保原)→



↑ 第26番 野崎寺観音堂(保原)

第27番 壽徳寺観音堂(保原)→



→ 第24番 卯花広智寺観音堂(保原)



↑ ↓ 玉ねぎとニンニク たくさんとれました!



↓ ボランティアの先生方によるこまめな手入れ



じゃがいも どこかな～

子ども農園

毎月第2・第4金曜日の放課後に開催している子ども農園には、現在25名の子どもたちが、元気に参加しています。

第2回(6/23)は、昨年の子ども農園で植えた玉ねぎとニンニクの収穫を行いました。

第3回(7/14)は、小雨が降る中でしたが、3種類のじゃがいもを収穫しました。

どれも豊作で、子どもたちは一生懸命、残さず掘り起こしていました。収穫後の保存の仕方学び、それぞれ家庭に持ち帰って味わってもらいました。



伊達西地区健康講座

6月24日(土)、大山クリニックス 大山仁院長と、福島赤十字病院 菊地利恵管理栄養士のお二人を講師に招き、「ホームドクターの健康講話〜健康と栄養〜」と題した講座を開催しました。

鈴木理事長挨拶の後、お二方より、普段皆さんが悩まれている適切な食事の摂り方や、フレイル(加齢や疾患による心と体の働きが弱くなってきた状態)について、病気との関連も含めわかりやすく説明いただきました。

大山院長の丁寧な説明に加え、質疑形式で、菊池管理栄養士が具体的に解説するなど、参加者の理解を深めた内容となりました。



丁寧に説明される大山院長



参加者の質問に答える菊池管理栄養士

熊野岳トレッキング

7月8日(土)、蔵王山最高峰1841mの熊野岳を目指しました。

小雨の中、宮城蔵王ガイド協会二名の講師引率のもと、安全に留意しながら、エメラルドグリーンが美しい御釜の眺めを楽しみました。

強風のため、頂上は断念しましたが、下山後は、美味しい豆腐づくしの昼食をいただき、蔵王温泉での入浴や、街並みを散策するなど、疲れを癒しながら帰途につきました。



↑コマクサも見頃!

御釜を背に

ズンバに親しむ

6月29日から7月20日(全木曜)までの全4回、ダンス系の運動(エクササイズ)として人気のズンバ(Zumba)教室を開催しました。

講師は、ANA認定インストラクター RICA(リカ)さんです。

ラテン系の曲に身をゆだね元気に踊る講師に圧倒されつつも、参加者自身で動作部位やステップ回数等を加減しながら、見よう見まねで、無理のないダンシングを楽しみました。

緩やかな振付の声もありましたが、皆さん、休憩時の水分補給を上回る位の沢山の汗を流したようです。



曲に合わせて踊る RICA 講師(左上)と、ズンバ教室の風景

おもてなし料理教室

7月25日(火)、ベーカリー麦々工房の金成敦子さんを講師に迎え、お盆など人が集まる機会に役立つ、おもてなし料理「にんじんラペ・とり手羽元のバルサミコ焼き・ヨーグルトティラミス」の作り方を教わりました。

お肉の種類を変えたアレンジ法や切り方盛り付け方を工夫したり、ひと手間を加えるだけで見た目もグッと華やかなるテクニクを教わり、皆様料理の腕を磨かれていました。

ぜひ、親せきやご友人と華やかな料理を囲んで、楽しいひと時を過ごしていただければと思います。



和気あいあいと作業



色鮮やかな盛り付けも食欲をそそります!→

シリーズ おらが町内会パート3 殿町町内会

一. 伊達小に一番近い町内会

殿町町内会は、現在、建設中の伊達市伊達小学校に一番近い町内会であり、令和5年6月1日現在の世帯数は91世帯です。

二. ごみ問題対策検討会

今回は、当町内会の「令和4年度のごみ問題対策検討会の活動」についてご紹介します。

町内には、①八雲神社前、②佐藤会員宅西側、③稲荷神社前、④神尾会員宅西側の4カ所にごみ置場があります。令和4年5月開催の役員会において、プロジェクトとしてごみ問題に取り組むことといたしました。

三. プロジェクトの開催状況

6月、「ごみ問題対策検討会」プロジェクト発足時に、環境衛生部長をリーダーとし、全班長、四役を構成メンバーとしました。

また、ごみ処理問題の優先順位等のスケジュールを確認し、「早速、メンバーをはじめ、かわら版「とのまち」広報を通じ、町内会員からもごみ処理問題の具体例を収集しました。

9月には、ごみ処理問題（具体例）の調査結果をメンバーに配布し、市議

会議員大竹重範様にもご意見等をいただきました。

12月の第4回検討会で、殿町③ごみ置場の問題を優先とすることや、ごみ置場利用会員への周知と協力を決定し、令和5年2月の第5回検討会において、利用会員の出席のもと、意見や考え等を出し合いました。

そして、4月の第6回検討会で協議した結果、殿町③ごみ置場は現状の場所から移設しない事、今後は使用面(使い方など)の検討を進める事を決めました。

四. ステップアップ事業の活用

なお、令和5年3月には、駅南町内会と協力し、ごみボックス更新の協議



ゴミ問題対策検討会のようす

お世話になっています

環境・図書ボランティア活動

地域のボランティアの皆さんにご協力いただき、7月6日(木)に交流館周辺の除草作業、7月27日(木)に館内図書スペースの雑誌カバーかけ作業等を行いました。

現在、月に一度、環境・図書ボランティアさんに活動していただいています。参加いただける方を随時募集中です。

(問合せ 551-1285)



除草作業のようす

五. 今後のごみ問題に向けて

これからも、ごみ置場ごとに問題を具体化し、その利用者と真摯に協議を重ねながら、ごみ処理対策に取り組んでまいります。

(殿町町内会長 渡邊 新一)

を実施し、それぞれの町内会で各1台を更新することといたし、市の地域づくり支援事業(ステップアップ事業)補助金を活用しながら、令和5年9月には、殿町④のごみボックスを更新する予定です。

挽き立てコーヒーをご用意しています

伊達中央交流館にエスプレッソマシンが導入されました。挽き立てのコーヒーをご用意しています(一杯100円にて)。お散歩中の休憩や会議の際などにご利用ください。

【利用時間】火～金曜 10時～16時

☕

\\ 挽き立て! //

エスプレッソコーヒー

ご利用いただけます

一杯 ¥100

【利用時間】火～金曜 10時～16時まで

一杯ずつ豆を挽く香り高い本格珈琲
エスプレッソならではの泡立ち(クレマ)も
お楽しみください!

※エスプレッソの適温67℃でのご提供です

ご利用の際は交流館窓口まで!

編集後記

この度、伊達西地区町内会連合会会長、並びに当法人伊達西地区自治協議会副理事長に任命されました。両組織の連携運営に、微力ながら尽力してまいります。

また、「自治協だより」の編集を担当します。皆さん、是非、交流館の行事や講座へ積極的にご参加ください。

地区の皆様との融和をはかり、教養を高めながら、明るい地域社会にしていきたいと思います。

(山田陽)